

# 農業グループ

2年 吉田 圭斗  
奴田原 広樹  
藤村 雄輝

これから農業グループの発表を始めます。  
リーダーの吉田 圭斗です。  
副リーダーの奴田原 広樹です。  
藤村 雄輝です。

# MAKE INO-CHO GREAT AGAIN

～偉大なるいの町を取り戻す～  
移住促進計画で解決する農業問題

いの町は耕作放棄地率の高さや、高齢化などの問題を抱えているが、それは言い換えれば、農業をしたいと思っている若者を受け入れる余力があるということだ。そこで私たちは、彼らといの町の土地所有者をつなげるための特別なプランを用意した。

See you next time

(吉田)いの町は耕作放棄地率の高さや、農業従事者の高齢化などの問題を抱えています。

しかし、それは言い換えれば、農業をしたいと思っている若者を受け入れる余力があるということです。

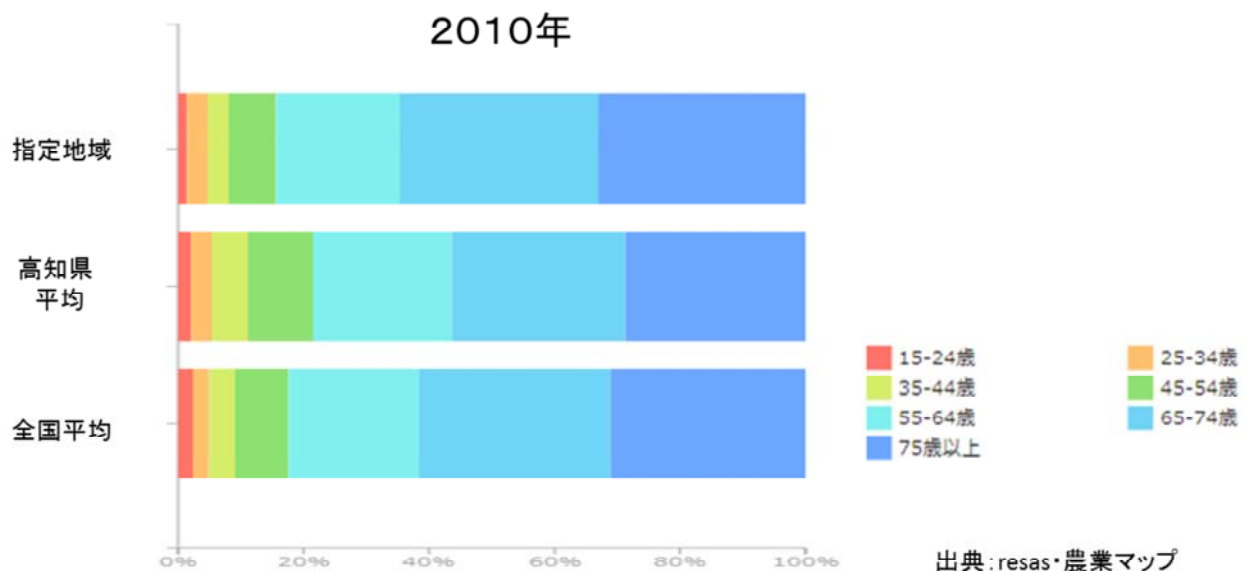
そこで私たちは、彼らといの町の土地所有者をつなげるための特別なプランを用意した。

(全員)メイク いの町 グレート アゲイン

(藤村)偉大なるいの町を取り戻す

(奴田原)移住促進計画で解決する農業問題

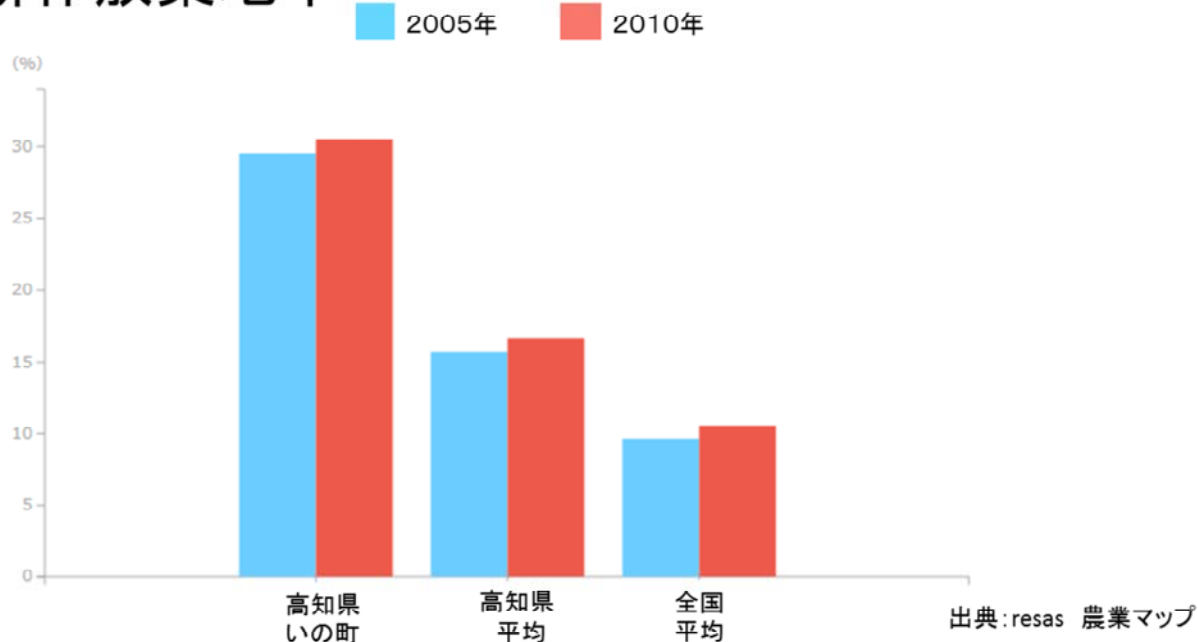
## 農業従事者の高齢化



(奴田原)まず、これを見てください。これは2010年の農業従事者の年齢層をあらわしたグラフです。

指定地域となっているところがいの町の平均のグラフです。水色が55歳以上の割合です。その右が65歳以上、75歳以上となっています。このように、55歳以上の割合がほとんどを占めています。すなわち、農業従事者の高齢化がかなり進んでいることがわかります。

## 耕作放棄地率



(吉田)次にこれを見てください。このグラフは2005年と2010年の耕作放棄地率を表したグラフです。

青色が2005年で赤が2010年のデータになっています。2005年に比べいの町、高知平均、全国平均ともに耕作放棄地率が上がっていることがわかります。

中でも伊野町は全国平均の3倍近くあり耕作放棄地率が非常に多いことがわかります。このようにいの町は農業従事者の高齢化と耕作放棄地率多いという問題を抱えています。

## いの町農業の課題

- 農業従事者の高齢化
- 他の地域に比べ耕作放棄地率が高い

(藤村)いの町の課題は、次の二つです。

- ① 農業従事者の高齢化
- ② 他の地域に比べ耕作放棄地率が高い ということです。

## いの町農業の課題

- 農業従事者の高齢化
- 他の地域に比べ

しかし！

(藤村)しかしこれは、言い換えれば、新規就農者を受け入れる余地があるということです。



新規就農者の受け入れ  
余地がある！！

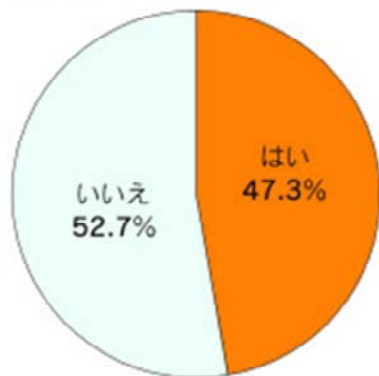
出典：福野 誠



(奴田原)な、なんですって!



地方で暮らしたいですか？



アンケート対象：575人の20～30代の若者

都会在住者(3大都市圏)が72.7%  
地方在住者は27.3%

### 地方で暮らしたいと思う理由

「100坪の敷地に庭も駐車場もある  
一戸建て」79.3%

「通勤ラッシュと無縁の生活」83.7%

「豊かな自然に囲まれた生活」69.0%

その他

「広い土地で農業をやってみたい」

など

出典：[http://www.nikkei.com/article/DGXNASFK23032\\_X20C12A3000000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASFK23032_X20C12A3000000/)

(吉田)そこで日本経済新聞が2012年に行った「地方で暮らしたいですか？」というアンケートに注目してみました。アンケート対象は575人の若者で「はい」と答えた人の割合は47.3%で焼く半分の方が「はい」と答えていることがわかりました。「はい」と答えた人の中で地方のどんなところにあこがれるのかを調べたところ「100坪の敷地に庭も駐車場もある一戸建て」や「通勤ラッシュと無縁の生活」や「豊かな自然に恵まれた生活」が多く挙げられました。

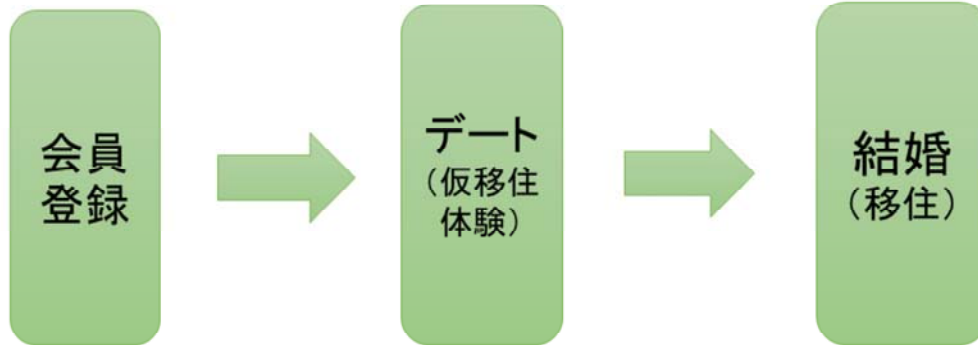


(奴田原)「通勤ラッシュかったるいなあ〜」、「自然の豊かなところで住んでみたいんだよね」

(藤村)「広い土地で農業をやってみたい！」

# 農業お見合い大作戦

## 移住プランの流れ



(奴田原) 初めに移住プランの流れを説明します。まず、移住専用のサイトを作ります。そのサイトに移住を希望している若者に会員登録してもらいます。同じいの町の地権者にも会員登録してもらいます。

そして、そのサイトを通じてお互いに意見交換などコミュニケーションをとります。次に実際に若者がいの町にきて、デート(仮移住体験)をします。これらの段階を得て、最終的には結婚(移住)を目指します。

## 会員登録



(奴田原)まず、会員登録を具体的に説明していきます。初めに、いの町の移住専用サイトを作ります。

そして、移住を希望している若者にそのサイトへ会員登録をしてもらいます。その時にこれらの情報も一緒に載せてもらいます。

これらの情報をサイト上に公開します。次に地権者にも同じく会員登録をしてもらいます。

会員登録をした地権者はサイト上で公開されている移住希望者の情報を見て気になった人にサイトを通して連絡します。

このようにして、若者と地権者を繋げます。

## デート(仮移住体験)

1か月

意見  
交換

1週間

意見  
交換

1泊2日



## 目標

移民(県外からの移住者)を  
年間10人受け入れる！！



(藤村)年間10人受け入れることにより、農業従事者のグラフの水色以外の若者の割合が10年後、20年後には、20%以上になることを目指しています。  
20%以上になることにより、若者の活気であふれたいの町にしたいと考えています。